

許年月日

第

号

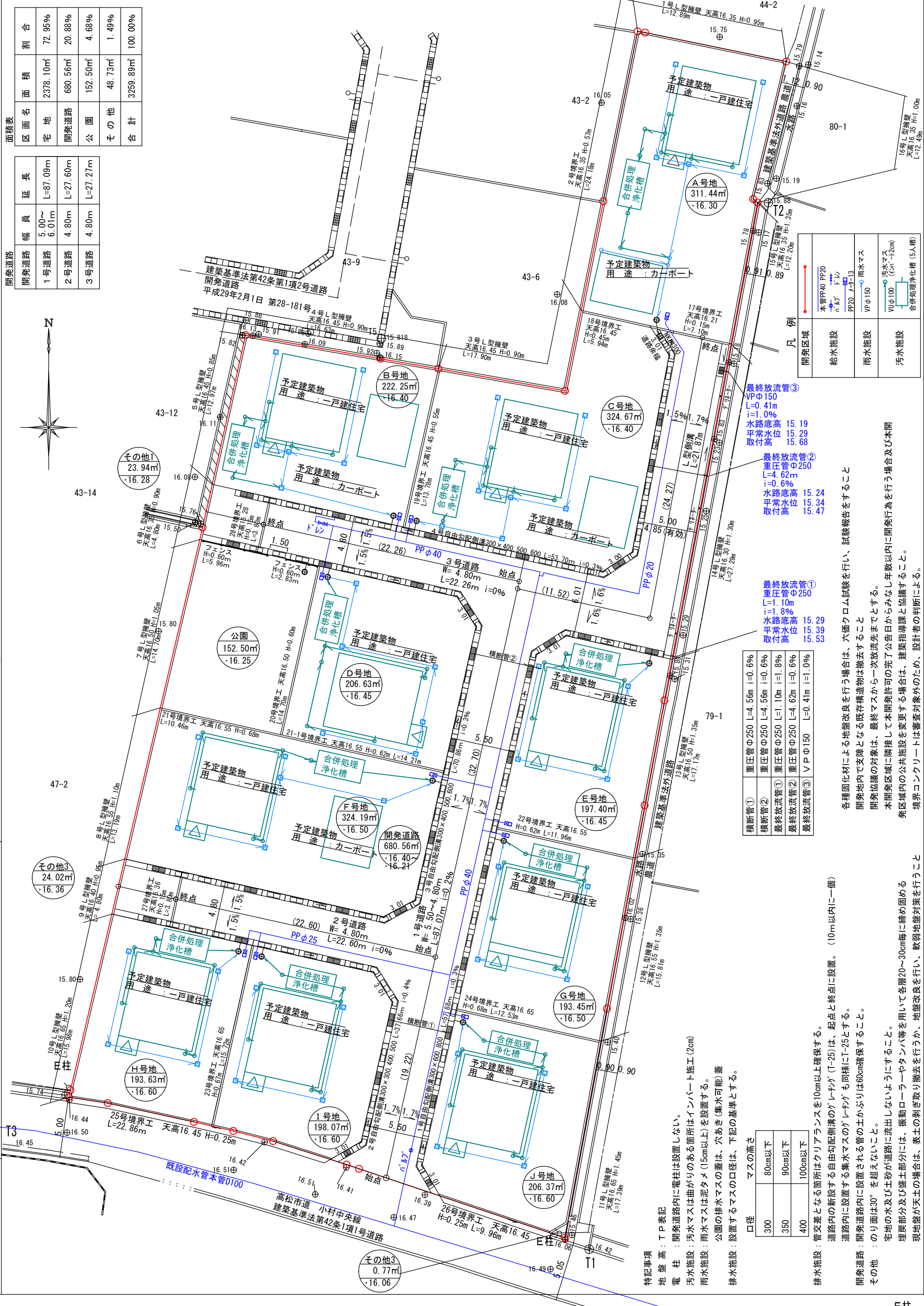
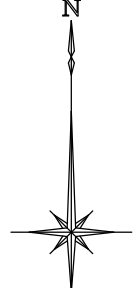
申請者 高松市伏石町2174番地16  
株式会社アルファード  
代表取締役 七條 政志

作成者 住所・氏名 高松市牟礼町牟礼  
2949番地  
土地家屋調査士 森 和夫  
行政書士

面積表	
区画名	割合
宅地	72.95%
開発道路	20.88%
公園	4.68%
その他	1.49%
合計	100.00%

開発道路	
開発道路	延長
1号道路	L=87.09m
2号道路	L=27.60m
3号道路	L=27.27m



凡例

開発区域	本管PP40 PP20 ハチク PP20 上+13
給水施設	雨水マス
雨水施設	雨水マス VPφ150
汚水施設	汚水マス VPφ100 (付+1.2cm) 合併処理浄化槽 (5人槽)

管種	管径	管長	勾配	管底高	取付高
最終放流管①	重圧管φ250	L=4.56m	i=0.6%	15.29	15.53
最終放流管②	重圧管φ250	L=4.56m	i=0.6%	15.34	15.47
最終放流管③	重圧管φ250	L=1.10m	i=1.8%	15.24	15.47
最終放流管④	重圧管φ250	L=1.10m	i=1.8%	15.34	15.47
最終放流管⑤	重圧管φ250	L=4.62m	i=0.6%	15.29	15.53
最終放流管⑥	重圧管φ250	L=4.62m	i=0.6%	15.34	15.47
最終放流管⑦	V P φ 150	L=0.41m	i=1.0%	15.19	15.68
最終放流管⑧	V P φ 150	L=0.41m	i=1.0%	15.24	15.47

特記事項  
 地盤高：T P 表記  
 電柱：開発道路内に電柱は設置しない。  
 汚水施設：汚水マスは曲がりのある箇所はインバート施工(20cm)を設置する。  
 雨水施設：雨水マスは泥タメ(15cm以上)を設置する。  
 公園の排水マスの蓋は、穴あき(集水可能)蓋  
 排水施設：設置するマスの口径は、下記の基準とする。

口径	マスの高さ
300	80cm以下
350	90cm以下
400	100cm以下

排水施設：管交差となる箇所はクリアランスを10cm以上確保する。  
 道路内の新設する自由勾配排水のグレーチング(T-25)は、起点と終点に設置。(10m以内に1個)  
 道路内に設置する集水マスのグレーチングも同様にT-25とする。  
 開発道路：開発道路内に設置される管の土かぶり又は60cm確保すること。  
 その他：のり面は30°を超えないこと。  
 宅地の水及び土砂が道路に流出しないようにすること。  
 埋戻部分及び盛土部分には、振動ローラーやタンバ等を用いて各層20~30cm毎に締め固める  
 現地盤が土の場合、表土の剥ぎ取り撤去を行うか、地盤改良を行い、軟弱地盤対策を行うこと

各種固化材による地盤改良を行う場合は、六価クロム試験を行い、試験報告をすること  
 開発区域内で支障となる既存構造物は撤去すること  
 開発協議の対象は、最終マスから一次放流先までとする。  
 本開発区域内に隣接して本開発許可の完了日からみなし年数以内に開発行為を行う場合及び本開  
 発区域内の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議すること。  
 境界コンクリートは審査対象のため、設計者の判断による。